

第 1 回次期京都市農林行政基本方針検討会における主な御意見に対する方針への反映状況

委員名	主な御意見	反映状況
久野座長	学校給食などに市内産農産物を使用するためには、政策領域（教育、農業、栄養、福祉政策）を跨いだ議論が必要	基本方針本編の推進体制に記載予定
	輸出をはじめ農業振興には、京都市だけではなく府や周辺市町村・民間企業と連携した取組が必要	基本方針本編の推進体制に記載予定 重点項目 1 「高める」施策の方向（3）に反映
	兼業農林家や市民など、農林業を支える多様な担い手確保が必要	重点項目 2 「創る」施策の方向（1）に反映
青合委員	森林の健全な環境維持には、林業だけでは限界があり、多面的機能に視点を置いた森林整備が重要	重点項目 3 「守る」施策の方向（3）に反映
	木材を活用する社会の再構築、利活用についての普及・啓発が必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（3）、 重点項目 4 「支える」施策の方向（1）、（3）に反映
	分野を超えた木材の利活用の検討が必要	基本方針本編の推進体制に記載予定
	林業従事者の減少が危機的で、作業員に適正な対価が支払える仕組みの構築が必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（2）に反映
池本委員	新規就農者の受入環境の整備と受入体制の「見える化」が担い手確保には重要	重点項目 1 「高める」施策の方向（1）に反映
大塚委員	日本の木材の海外での評価が低品質・低価格になっているため、日本の木材の質の良さをアピールし、販路の開拓が必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（3）、 重点項目 3 「守る」施策の方向（1）、重点項目 4 「支える」施策の方向（2）に反映
	自然でのアクティビティの需要に応える取組が必要	重点項目 2 「創る」施策の方向（2）に反映
蒲田委員	新規就農者の高額な初期投資（農業機械など）に係る経費の支援が必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（2）に反映
田淵委員	海外輸出やCLTなど非住宅分野の需要拡大を図る取組が必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（3）に反映
千葉委員	新規就農者が営農活動を継続できるよう就農後の伴走支援が必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（1）に反映
	民間企業のスキルを活用し、スマート農業の効率的な導入の推進が必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（2）に反映
	行政は、環境保全型農産物の基準の共有や情報発信を行い、生産者が販売時にその付加価値を消費者に交渉しやすい基盤づくりが必要	重点項目 3 「守る」施策の方向（3）に反映
	ウィズコロナ社会における地方分散や田園回帰などのニーズを受けて、農林業の価値をPRし、人を集める取組が必要	重点項目 2 「創る」施策の方向（2）に反映

委員名	主な御意見	反映状況
長島委員	木材流通は需給のミスマッチが発生しており、需要側と山側の連携をとる施策が必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（3）に反映
	広葉樹を使った新たなビジネスの創出など山の資源の利活用の検討が重要	重点項目 2 「創る」施策の方向（2）に反映
	適地適木の植栽は専門的な技術が求められるため、対価が支払われるシステムが必要	重点項目 3 「守る」施策の方向（2）に反映
貫名委員	農林業が環境に貢献するのではなく、豊かな環境の上に農林業の基盤が成り立っているという発想の転換が必要	基本方針本編の理念に記載予定 重点項目 3 「守る」施策の方向（3）に反映
森本委員	味や価値は世界基準でとらえ、世界を見据えて販売を考えることが必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（3）に反映
安井委員	新京野菜やみやこ杣木をより多くの市民に知ってもらう取組が必要	重点項目 4 「支える」施策の方向（2）に反映
	京北の若手農家で集まって野菜の共同出荷等に取り組み始めており、世の中の変化への柔軟な対応が必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（3）に反映
	農業を通じて地域の歴史や精神性も含めた、京都の農山村の魅力を発信することが必要	重点項目 3 「守る」施策の方向（1）に反映
渡邊委員	新規参入だけでなく、定年帰農などあらゆる担い手の確保が必要	重点項目 1 「高める」施策の方向（1）、重点項目 2 「創る」施策の方向（1）に反映
	都市に残る農地は地域の財産であるため、地域全体で守る取組が必要	重点項目 4 「支える」施策の方向（4）に反映
〈事前意見〉 湯本委員	SDGs や生物多様性を次期基本方針に明示すべき	基本方針本編の理念に記載予定 各重点項目に SDGs の分類を記載 重点項目 3 「守る」施策の方向（3）に記載
	農林業は農産物や材木といった生態系の供給サービスだけでなく、農地・林地が持つ他の生態系サービス（これまで多面的機能と呼ばれてきたもの）を利活用するため、市の他部課の政策とも相互乗り入れをし、先導的な取組を進めていくことが重要	重点項目 2 「創る」施策の方向（2）に反映 （環境政策局と連携について調整中）